

組 織 運 営 ・ 経 営 管 理 編

第 1 章 組織運営のジレンマ

- 第 1 節 組織体制の抜本的改造、あるいは継続性の配慮
- 第 2 節 全体最適・効率化を目指す中央集権か、
あるいはスピード・創造性発揮のために現場への権限委譲
- 第 3 節 組織の方向はフラット型組織、あるいはピラミッド型組織
- 第 4 節 研究・新製品開発部門はマネジメント指向あるいは専門技術指向
- 第 5 節 高度な業務は、個人のスキル活用を主体、あるいは組織のチーム力で対応
- 第 6 節 自社の業務処理は、社内化を基本とすべきか、あるいは
ビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）を活用すべきか

第 2 章 経営管理活動のジレンマ

- 第 1 節 意思決定のタイミングについてスピード重視、あるいは十分な検討
- 第 2 節 意思決定プロセスはトップダウン、あるいはボトムアップ
- 第 3 節 高い業績をあげるカリスマ経営のリスクと限界（2015年9月）
- 第 4 節 企業経営で優先すべきは顧客満足、あるいは従業員満足
- 第 5 節 会議は、マネジメント強化のために充実、
あるいは、効率重視のために最小化
- 第 6 節 企業の利益は従業員報酬、役員報酬、内部留保、株主還元
のどこへ重点的に配分すべきか
- 第 7 節 見落としはないか！中小製造業で安定した収益を確保するために
- 第 8 節 勘違いしやすい中小規模企業での経営管理の意味

第 3 章 QCD（品質・コスト・納期）のジレンマ

- 第 1 節 進捗が思わしくないプロジェクトは即中止、あるいは状況監視 第 2 章より
- 第 2 節 QCD（品質・コスト・納期）において、Q 優先、C 優先、それとも D 優先
- 第 3 節 コスト管理は製品別管理あるいは部門別管理
- 第 4 節 意思決定のためのコスト把握・分析 間違えないための考え方
- 第 5 節 原価把握、損益管理をしているつもりなのに、なぜ、業績が低迷

第 4 章 投資・資産に関するジレンマ

- 第 1 節 固定設備の購入、あるいはリース、レンタル
- 第 2 節 事業で使うものは、所有、あるいは、外部サービスを利用すべきか
- 第 3 節 投資先は、外部リソースの獲得（企業買収）、あるいは、社内への投資

第 5 章 IT 活用のジレンマ

- 第 1 節 IT の活用は効率重視で全面展開、あるいは、現状継続で限定的な導入
- 第 2 節 企業の情報システムは、パッケージソフト（ERP）導入、
あるいはスクラッチソフト

第6章 労務管理・人材育成のジレンマ

- 第1節 労務管理の年功主義、あるいは成果主義
- 第2節 売上減少時に大胆なリストラ、あるいは慎重な対処
- 第3節 崩壊し始めた終身雇用制度 これからの雇用制度はどうあるべきか
- 第4節 定年制度はどう考えるべきか 一高齢化、長寿命時代における雇用施策
- 第5節 機能不全に陥りやすい目標管理制度 それを効果的に行うためのポイント
- 第6節 今後の働き方はどうなるか テレワーク化の動きと意外なハードル

第7章 リスク管理のジレンマ

- 第1節 リスクマネジメントは事前の危機対応計画重視、あるいは緊急対応体制重視
- 第2節 失敗・事故防止の考え方は人の意識重視、あるいは仕組み重視
- 第3節 どうする！マニュアルだけでは防ぎきれないアクシデント（重大な組織事故）
- 第4節 相次ぐ企業や組織の不祥事に対して有効策はあるのか